

平成25年度事業計画

(平成25年2月1日～26年1月31日)

1. 昨年6月からの奨学金の給与及び貸与

昨年6月から奨学生として40名の法科大学院生（内訳2年生9名・3年生31名）に奨学金を給与及び貸与してきて、昨年10月から3年生1名が辞退したので現在39名に給与・貸与している。現在の奨学生のうち3年生は、本年2月から5月末日までは30名に1ヶ月10万円の奨学金を出すので5月末日まで1,200万円必要である。3年生30名が卒業し、昨年2年生の9名が更に1年間奨学金を受けることになるので、9名について本年2月から来年1月までの奨学金支給額は1,080万円が必要である。

平成23年1月末現在の奨学生に対する平成24年度に必要な奨学金は合計2,280万円（平成24年2月から同25年1月までの分）である。

2. 平成25年募集の奨学生

平成25年度に募集する奨学生（6月給与・貸与開始分）については、指定校を昨年と同様24校とし、募集人員を33名とする。平成24年からの奨学生9名が残っているので、平成25年6月以降の奨学生は合計42名となる。

(1) 本年度新規に法科大学院学生33名を募集する。

本年度採用の奨学生の給与・貸与の合計金額は2,640万円となる

$33 \text{ (人)} \times 10 \text{ (万円)} \times 8 \text{ (月)} = 2,640 \text{ 万円}$ （平成25年6月から同26年1月までの分）

本年度の奨学生を推薦依頼する法科大学院等について

(2) 募集する学生の学年と人数

法科大学院 3年生 18名（1年間）・同2年生 15名（2年間）

(3) 奨学生を推薦依頼する法科大学院

奨学生を募集するにあたり、全国の法科大学院を対象とすると募集手続のために時間と労力の負担が重く当財団の事務処理能力のうえから困難である。そこで、全国の法科大学院のうち合格者数と合格率を考慮し

て下記法科大学院24校から奨学生候補者の推薦を依頼する。

東京大学，中央大学，慶應大学，京都大学，早稲田大学，明治大学，
大阪大学，一橋大学，北海道大学，東北大学，同志社大学，
名古屋大学，神戸大学，立命館大学，九州大学，関西学院大学，
上智大学，関西大学，大阪市立大学，千葉大学，首都大学東京、
法政大学、学習院大学、立教大学

(4) 奨学生の決定方法

前記(3)の法科大学院から推薦された候補者を書類選考により第一次合格者を決定し，この合格者全員に対し当財団理事・評議員のうち2名以上の役員がそれぞれの合格者に対し面接をしたうえ奨学生を決定する。奨学金を希望する候補者が面接に来るための交通費は財団が全額負担する。

(5) 平成25年2月1日から同26年1月31日までの奨学生に対する給与及び貸与の合計額は、4,920万円になる(内訳：昨年度の法科大学院生のうち3年生分1,200万円、2年生分1,080万円、本年度採用する奨学生33名分2,640万円)。このうち給与は、30%であるので1,476万円となる。

3. 研修会及び講演会の実施

大学生・法科大学院生・司法修習生・弁護士等に対し法曹倫理の研修及び講演会を1回行う。実施する時期は平成25年10月とする。尚，奨学生及び法科大学院を卒業した奨学生全員に通知を出し，奨学生については出席を義務化する代わりに往復に要する交通費は全額財団の負担とする。なお，奨学生を終了した人が司法試験に合格したときは，その年度に限り交通費を財団から支給する。

以上